

2日目は、6時すぎに起床。お布団や部屋の片づけをすませ、朝食をとり、退館式を行い、見学地に出発しました。最初の見学地は、通し矢で有名な蓮華王院(三十三間堂)で1001躯の観音像を見学しました。子どもたちは、数の多さと一躯として同じ表情のない観音像に圧倒されました。見学後は、庭に出て通し矢が行わられた廊下の説明をガイドさんから聞きました。そして、京都を後にして奈良に向かいました。



奈良では、まず、日本最古の木造建築でユネスコ世界文化遺産にも登録されている法隆寺を見学しました。五重塔やエンタシスの柱、大宝蔵院にある玉虫厨子や百濟觀音などをしっかりと見てきました。

その後、東大寺に向かい、古都屋さんで昼食をいただき、奈良の班別行動に出発しました。班別行動では奈良でのお土産を買ったり、奈良公園で鹿と戯れたり

しながら東大寺大仏殿を目指しました。

最後の見学場所の大仏殿では、台座を含めて約18mの大仏を見上げ、その大きさに驚いていました。大仏の鼻の穴と同じ大きさの穴があけられている柱をくぐることにも、多くの子がチャレンジしていました。バスの駐車場に向かう途中には、南大門があり、ガイドさんから説明を聞いた後、バスに乗車し、飯野小学校への帰路につきました。



この修学旅行を通して、バスの運転手さん、ガイドさん、班別行動のガイドさん、旅館の方々など、関わる方々に対し、あいさつはもちろん、「お願ひします。」「ありがとうございます。」と感謝の気持ちをしっかりと伝える子どもたちの姿が見られました。また、友達への気遣いも忘れず、互いが気持ちよく過ごせるよう声を掛け合っている姿も見られました。修学旅行中にも成長する6年生の皆さんの姿を見て、本当に素晴らしいと感じました。

最後に保護者の皆様には、準備や送迎などお世話になりました。ありがとうございました。

